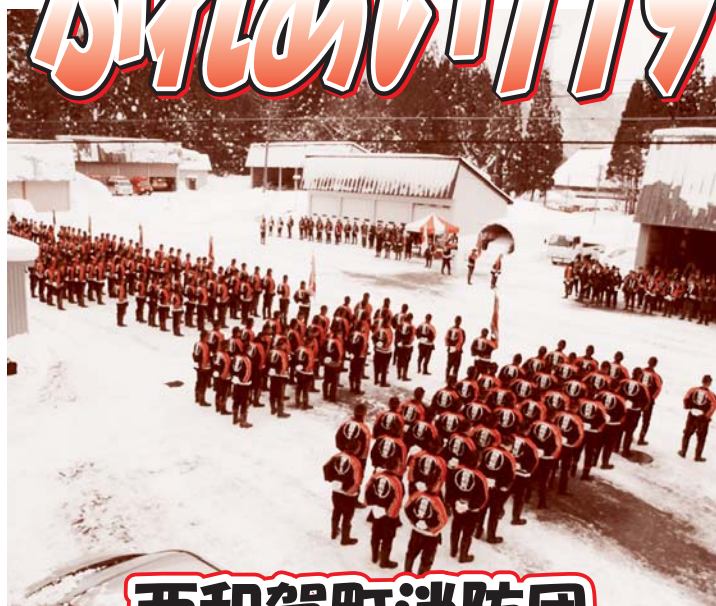


ふれあい119

H27.2.25

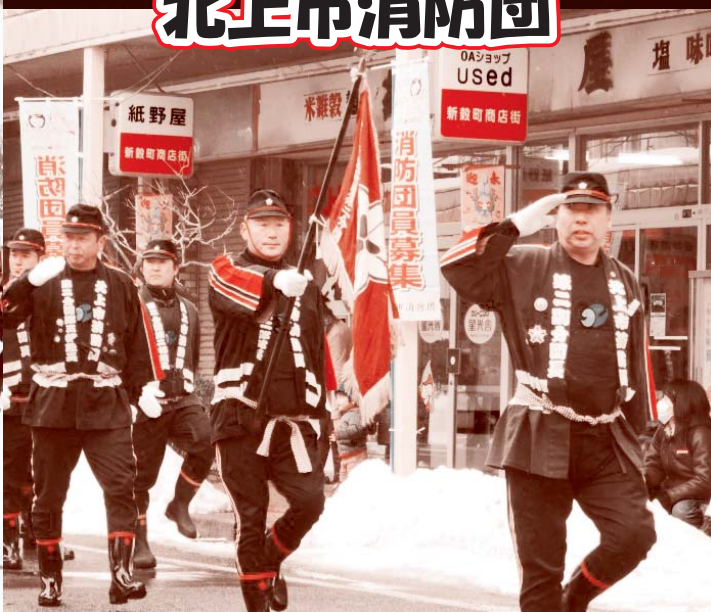
NO.29



西和賀町消防団



北上市消防団



～No.29のトピックス～

- ・消防出初め式……………1頁
- ・防ごう！雪の事故……………2頁
- ・平成26年火災・救急件数…3頁
- ・電気火災に注意……………3頁
- ・お宅の煙突は大丈夫？…3頁
- ・江釣子地区自主防災会…4頁
- ・スマートフォンの間違い電話が増加しています……………4頁

平成27年北上市消防出初め式は1月10日、さくらホールで、西和賀町消防出初め式は1月4日西和賀町沢内庁舎駐車場で行われ、市民の安全と安心を守る決意を新たに誓い合いました。

式典では消防殉職者に黙とうをささげた後、無火災を継続している分団や消防活動に尽力した団体、個人に表彰状が授与されました。

式典の後には、観閲や分列行進が行われ、ラッパ隊を先頭に消防団員、婦人消防協力隊、消防車両がたくさんの市民町民が見守る中、一糸乱れぬ隊列で行進する姿は、地域を守る使命感にあふれていました。

防ごう！雪の事故

● 暦の上では春ですが、北上市、西和賀町はまだまだ寒さ全開ですね。今シーズンは全国各地で記録的な大雪が降り、それに伴う事故も増えているようです。北上地区でも毎年雪による事故が発生しており、大怪我や死亡に至るケースも少なくありません。そこで今回は**雪**による事故はどうしたら防げるのかを事例を交えながらご紹介したいと思います。

●雪による主な死亡事故



●事故防止のポイント

左上の図から分かるように、死者の多くは「屋根からの転落」が最も多く、そのうち3割ははしごからの転落となっています。また、転落死者の6割が1階の屋根からの転落で亡くなっています。ここで原因別に事故防止のポイントをご紹介します。

●屋根からの転落防止

- ↓安全帯やヘルメットの着用
- ↓滑りにくい靴を履く
- ↓命綱を取れる場所があれば必ず取る
- ↓スノーダンプは小回りのきくものを使用

●落雪による事故防止

- ↓新雪や晴れの日、雪のゆるみに注意
- ↓携帯電話を持って作業する
- ↓家族や隣近所に声をかけてから作業する

●水路への転落防止

- ↓流雪溝への雪捨ては滑らないよう注意
- ↓歩行者が落ちないよう派手な目印を

●作業中突然の発作予防

- ↓疲労時は作業しない
- ↓冬でもこまめな水分補給を
- 除雪機等の事故防止
- ↓整備や雪詰りはエンジンを切って
- ↓まわりの人や車に気を配る



これ以外でも注意しなければならないことはたくさんあります。ここに書いてあることはほんの一例に過ぎません。ですが、火災と一

緒で「これぐらいは大丈夫だろう。」とか「そんな面倒くさいことはやってられない。」など、ちよつとした心の隙を狙って事故は起こるんです。

●えっ！こんなことも？

皆さんご存知のとおり**雪の事故**は何も除雪時にだけとは限りません。**交通事故**はもとより、**滑って転倒負傷**や頻度はあまりありませんが**雪崩**などが挙げられます。しかし、これ以外でも身近な事故もあります。例えば：



雪下ろしや隣家からの落雪によってガスボンベやホームタンクの配管などを傷つけ、ガス漏れや油漏れが起る事故が発生しています。万が一ガスや油臭さを感じたらすぐ消防署に連絡しましょう。

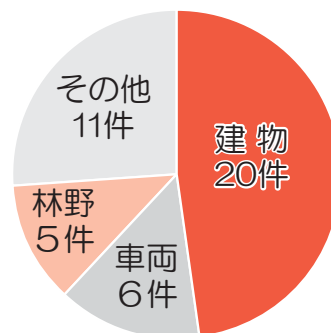
話

は変わりますが、冬場における消防車や救急車などの緊急車両が走っているのを見かけた際は、無理せず道に譲っていただけるようご協力をお願いいたします。積雪によって狭くなっている所、見通しの悪いカーブや交差点で無理に道を譲ろうとすると、双方の車両の危険度が増します。

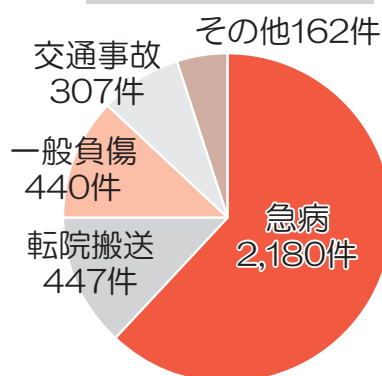


平成26年火災・救急件数

火 災 42件



救急 3,536件

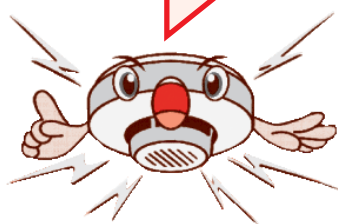


平成26年の火災・救急の特徴

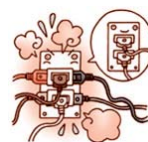
火災件数は平成25年と比較して3件の減少となりました。昨年の火災は**早期発見が特徴的**でした。発見が早かったため、全焼建物火災が平成25年と比較して81%減少しました。建物火災20件中、住宅火災は10件あり、そのうち**住宅用火災警報器**の作動で火災を発見したものが3件ありました。一方、火災による**死者**は平成25年と比較して4名増加の6名、**負傷者**は7名増加の13名となりました。

救急件数は平成25年と比較すると243件増加し、過去最高の救急件数となりました。中には、症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「便利だから」という理由での要請もあり、このままでは緊急を要する方への対応が遅れてしまう可能性もありますので、救急車の適正利用をお願いします。

現在、北上市及び西和賀町の住宅用火災警報器設置率は69%（全国67%）と決して高い設置率とは言えません。3月1日から3月20日にかけて、任意の北上市16地区、西和賀町4地区の設置状況調査を北上地区消防職員が行いますので、お伺いした際はご協力をお願いします。

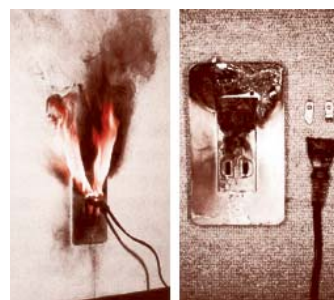


電気火災に注意



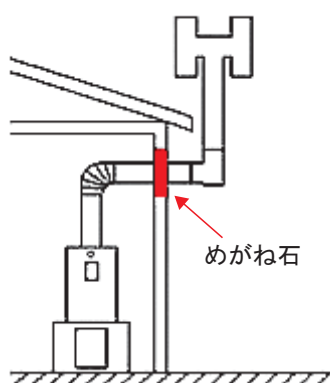
差込みプラグやコンセントといった配線器具は、差込みプラグのトラッキング現象やコンセント内部の接続部の緩みによる発熱等、普段気が付かないところで火災が発生することがあります。

このようなことを防ぐため、普段から使用している電気製品や電源コード、コンセント、差込みプラグなどの点検を行うことが大切です。また、日常使用していない器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておくよう心がけてください。



お宅の煙突は大丈夫ですか？

薪ストーブ、ボイラー等の煙突に関する火災が発生しています。原因は、煙突の接続部分が風や地震等で外れ、それに気付かず使用していたことにより、高温の熱気が壁内の木材を炭化させ発火に至ったものと考えられます。



また、「めがね石」の厚さが足りず、煙突からの熱が壁内の木材を炭化させ発火に至った火災も発生しています。壁に煙突を通す場合は、壁の厚さ以上の「めがね石」を必ず使用して下さい。屋根からの落雪、強風や地震で煙突が外れることがありますので、危険な状態になりますのでこまめに点検するようにしましょう。

防災・災害に備えて

「江釣子地区自主防災会で総合防災訓練を実施」

江釣子地区では、平成18年4月、第17区に初めて自主防災組織が結成され、現在では第1区から第17区まですべての行政区に自主防災組織が結成されております。

昨年8月31日（日）に江釣子地区自主防災会（会長、三田長義）が主催となり全17組織が一堂に会して災害に備えた総合防災訓練が行われました。防災訓練はそれぞれの防災会で定期的に行われておりますが、全体としての訓練は結成以来初の試みで、各行政区の代表者が江釣子地区交流センターの協力を得て入念な打ち合わせを行い、北上市消防団第3分団、第4分団他関係者の協力を得て行われました。

訓練後は、各組織内から出された改善点や良かった点等を精査する反省会を設け、今後の防災訓練に生かし、災害時には「自分たちの命は自分たちで守る」ことに決意を新たにした訓練であり、総合防災訓練の大切さを再認識した訓練でもありました。



図上訓練の様子



地区住民による農機具（薬剤散布機）を使用しての消火訓練



関係者による反省会の様子

お持ちですか？

スマホ

ロック機能
設定中

緊急通報

誤操作に注意

スマートフォンの増加に伴い119番への「間違い通報」が増えています！

スマートフォンからの、119番への間違い通報が増えています。原因としては「子供が誤って操作した」、「ポケットやカバンに入っていて、気付かないうちに発信してしまった」などがあります。

スマートフォンには、パスワード等を入力しなければ端末操作ができなくなる「**ロック機能**」があります。しかし、ロック機能設定中は、ロックを解除することなく110番や119番へ発信できる「緊急通報機能」が作動し、気付かないうちに「緊急通報ボタン」に触れるなどして誤発信してしまうことがあります。通報を受けて応答が無い場合は、消防署から一般電話でかけ直したり、万一の事態を想定して発信者情報を携帯会社に問い合わせ、救急車等を出動させる場合があります。

もしも、誤って通報してしまったら・・・

誤って通報してしまったら、消防署からかけ直した電話に必ず応答し「間違いです」と伝えてください。消防署では、安否確認ができるまで確認作業を続けます。